

R4 介護ロボット導入支援事業 導入効果一覧

番号	法人名	施設名称	利用定員数	導入機器種類	機器名称	導入台数	導入効果	介護ロボットの活用課題 介護ロボットを導入・活用してみて感じた課題について記載（介護ロボットの機能、使い勝手や導入・活用にあたって苦労した点など）
1	社会福祉法人綿半野原積善会	特別養護老人ホームかざこしの里	100	移乗支援	サポートロボットHUG T1	4	職員1人あたりの業務の時間削減：75分/月 職員1人あたりの超過勤務削減：15分 ヒヤリハット・介護事故件数減：0～10% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	トイレへの移乗については、施設の課題であったが導入により立位が難しい方もトイレの排せつが可能となった。また、二人介助での対応等をしていたケースも減り、職員の腰痛予防や人材不足時の対応にも一定の効果がある。その反面、十分検討をしたが対象者に限りが出てくるのは課題として見られる。腋窩による脱臼リスク、腋窩へ確実にリフトを入れる技術などは課題として見られる。
2	飯田市	飯田市立病院介護老人保健施設	100	見守り	離床センサー付き介護ベッド エスパシアシリーズ 見守りシステム ネオスケア	4	職員1人あたりの業務の時間削減：0分/月 職員1人あたりの超過勤務削減：0分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：10～20% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	特になし
3	有限会社マルフジ	ショートステイ花りん	20	見守り	ふむふむセンサーmini	4	職員1人あたりの業務の時間削減：900分/月 職員1人あたりの超過勤務削減：0分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：30～40% 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	ベッドの横へポータブルトイレを置いた場合、マットが長い場合マットを設置する位置、方向について考慮が必要となった。
4	医療法人光仁会	介護老人保健施設チェリーガーデン	178	見守り	離床センサー付き介護ベッド エスパシアシリーズ	10	職員1人あたりの業務の時間削減：420分/月 職員1人あたりの超過勤務削減：10分/月 ヒヤリハット・介護事故件数減：0%（変化なし） 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	以前からセンサーは導入しているので、活用開始にあたっての苦労などはあまり感じなかった。今回初めてベッド内蔵型のセンサーを導入したが、従来から使用していた単独のセンサーに比べて感度が良く、誤報が少ない。今後の課題として、センサーは問題なく鳴動するが、現状ではナースコールの内容が古くて、どこの居室で鳴っているのかがその場ですぐに分からないので、そういった所までIT技術を用いて改善ができると更に効果は高まるかと考える。ただし、職員の巡回数の減少や負担軽減にはつながっている。
5	株式会社ソーシャル・ネットワーク	ウィズ茅野	81	見守り	アイオロス	1	職員1人あたりの業務の時間削減：0分/月 職員1人あたりの超過勤務削減：0分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：0%（変化なし） 職員の心理的（精神的）負担の変化：減少した	自走式ロボットゆえ故障が多い。 求職希望者へのインパクトが大きい。 今後の活用と業務軽減のリンクが課題。
6	社会福祉法人 なすな	地域密着型特別養護老人ホームそのさと	19	見守り	超音波センサー	6	職員1人あたりの業務の時間削減：60分/月 職員1人あたりの超過勤務削減：0分（変化なし） ヒヤリハット・介護事故件数減：0%（変化なし） 職員の心理的（精神的）負担の変化：変化なし	特になし